

# 酪農乳業「未来へのアクション」をアピール

## サステナビリティの取り組みなど紹介 新サイト公開

Jミルクは、酪農乳業界が目指す将来像や業界として克服すべき課題への対応などについて、現状や取り組みの方向性をまとめ発信する新たなウェブサイト을本日(2026年3月26日)、公開しました。

「Future Milk Action 動かそう、酪農乳業の未来。」と題し、酪農生産基盤の維持・強化や牛乳・乳製品の消費拡大のほか、社会的課題である温室効果ガスの排出削減などサステナビリティに関わる情報に重点を置き、主に業界関係者に向けた情報として発信していきます。グラフィックやイラストを多用しており、今後、動画も加えながら、消費者にも、見て、知っていただきたい内容に発展させていきます。

Jミルクは、持続可能な酪農乳業の実現に向けて業界関係者が取り組むべき重要課題を7項目の「マテリアリティ」として設定しており、これらの実現に向けた取り組みを明らかにしています。



Future Milk  
Action



### (参考)日本の酪農乳業のマテリアリティ

#### 【日本の酪農乳業の根幹的課題への対応】

- (1) 日本酪農の生産基盤の維持・強化
- (2) 安全で安心される良質な牛乳・乳製品の安定的な提供
- (3) 牛乳・乳製品の消費拡大

#### 【社会的要求への対応】

- (4) 温室効果ガス排出量の削減
- (5) 労働者の安全と権利の確保
- (6) アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理

#### 【見(魅)せる化】

- (7) 日本の酪農乳業の意義と持続可能な取り組みの見える化

本サイトは、マテリアリティのうち「(7)日本の酪農乳業の意義と持続可能な取り組みの見える化」のためのプラットフォームとなります。

具体的には、酪農乳業が牛乳・乳製品を通して日本の食卓や健康を支えていること、一方で酪農家や乳業工場の数をはじめ業界を取り巻く環境が変化していることなど、マテリアリティに取り組む理由となる背景情報を統計データとともに紹介しています。

マテリアリティのうち例えば「温室効果ガス排出量の削減」については、現状の排出量や削減に向けての手法などを掲載していきます。このほか、マテリアリティの選定過程や現行の推進体制も紹介しています。

さらに今後は、マテリアリティの各項目について酪農家や乳業メーカーなどが課題に向き合う努力、創意工夫などの事例や、検討中の目標設定などについても、質・量ともに情報を充実させていきます。

ウェブサイト「Future Milk Action」のURLは次の通りです。

<https://www.j-milk.jp/sustainability/>



(アニマルウェルフェアのページから)



(温室効果ガスのページから)

以上

## 一般社団法人Jミルク

酪農・乳業・牛乳販売の各関係団体や企業、個人などが会員となってつくる、業界横断的な団体です。主な事業内容として、▽生乳や牛乳・乳製品の需給安定のための調査分析や情報発信、▽健康・栄養面をはじめ、酪農乳業界が持つ多様な価値の理解促進につながる情報や科学的エビデンスの収集・提供、▽国際機関との連携、などを行っています。

▶ 公式ウェブサイト: <https://www.j-milk.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】  
 生産流通グループ 関  
 東京都千代田区神田駿河台 2-1-20 御茶ノ水安田ビル 5 階  
 電話:03-5577-7493